

2026年6月15日

各位

株式会社CAICA DIGITAL  
代表取締役社長 鈴木 伸  
(コード番号: 2315 東証スタンダード)  
問合せ先:  
代表取締役副社長 山口 健治  
Tel 03-5657-3000 (代表)

## 株式会社善光総合研究所の子会社化に伴うのれんの額及び 特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2025年12月23日付「株式交付による株式会社善光総合研究所の子会社化に関するお知らせ」等にて公表しておりますとおり、株式会社善光総合研究所（以下「善光総研」といいます。）を株式交付により子会社化いたしました。本株式交付に伴う会計処理並びにのれんの金額及びその内容を踏まえ、特別利益・特別損失の計上について、以下のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 善光総研の子会社化に伴うのれんの額について

当中間連結会計期間において、当社が株式交付により善光総研の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことにより、「介護DX事業」セグメントにおいて、のれんが2,497百万円増加しております。

善光総研につきましては、2026年4月末時点の貸借対照表を連結対象とし、損益計算書については、2026年10月期第3四半期に3月から5月までの3か月分、第4四半期に6月から8月までの3か月分を取り込む予定であることから、2026年10月期連結業績への寄与は6か月分となります。

また、善光総研の子会社化に伴い発生したのれんにつきましては、下記3. 特別損失（のれんの一部減損）の計上について記載したとおり、一部減損損失を計上しました。一方、今後の事業活動によって期待される将来の超過収益力に基づくのれんは2,289百万円と算定し、10年間にわたり均等償却を行うことといたしました。2026年10月期におけるのれん償却額114百万円の計上を見込んでおります。

なお、取得原価の配分が完了していないため、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

#### 2. 連結決算における特別利益（段階取得に係る差益）の計上について

当社は、2026年2月6日付で善光総研を株式交付により子会社化いたしました。当社の連結子会社である株式会社カイカフィナンシャルホールディングスが、株式交付による株式追加取得以前から保有する持分を当該追加取得時の時価で再評価したことによる評価差益（段階取得に係る差益）として207百万円を特別利益に計上いたしました。

#### 3. 連結決算における特別損失（のれんの一部減損）の計上について

善光総研の子会社化に伴い発生したのれんの一部について、減損損失207百万円を特別損失として計上いたしました。これは、株式交付による子会社化の決定公表後に当社の株価が上昇したことにより、善光総研の株主に交付する当社株式の評価額が当初想定を上回ったためであります。その結果、企業結合日における会計上の取得価額が増加し、取得価額と当初想定していた善光総研の事業価値との差額について会計上の処理として減損損失を計上したものであります。

なお、本減損は当社株価の変動に起因する会計上の処理によるものであり、善光総研の事業価値の低下や業績悪化によるものではありません。

#### 4. 業績に与える影響

最近の業績動向及び善光総研の子会社化の影響を精査した結果、2026年10月期の連結業績予想につきましては、2025年12月19日に公表いたしました「2025年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通期連結業績予想から変更しておりません。

これは、善光総研の子会社化による業績寄与が見込まれる一方、CAICAテクノロジーズが展開するDXソリューション事業において、一部案件の進捗が当初計画を下回る見込みであることから、これらの要因を総合的に勘案した結果であります。

なお、善光総研の損益は2026年10月期第3四半期から連結業績に反映される予定であり、当期における連結対象は限定的となる見込みです。

以上のことから、現時点においては2025年12月19日に公表した2026年の連結業績予想に変更はありません。

#### 5. 中期経営計画について

2027年10月期以降を対象とする中期経営計画につきましては、現時点では未定です。

以 上